

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)

【公開番号】特開 2003-166187 (P2003-166187A)
 【公開日】平成 15 年 6 月 13 日 (2003.6.13)
 【出願番号】特願 2002-261276 (P2002-261276)
 【国際特許分類第 7 版】

D 2 1 F 3/02

D 0 6 B 15/02

【F I】

D 2 1 F 3/02 Z

D 0 6 B 15/02

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 10 月 12 日 (2004.10.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

プレスニップにおいて材料ウェブを脱水するための拡張ニップロールプレスであって、前記プレスニップは一方の側では駆動合せロールによって形成され、他方の側では拡張ニッププレスロールによって形成され、該拡張ニッププレスロールは、定置支持部材と該支持部材の周りに回転可能な可撓性のあるロールカバーとを有し、該ロールカバーは、前記プレスニップの領域では前記支持部材上に配置されたプレスシュー上に支持されており、前記ロールカバーは、前記支持部材上に回転可能に実装された端壁の上に密封方式で堅固にクランプリングによって締め付けられた端部セクションを有し、前記クランプリングは、前記端壁の上で軸方向に移動可能に案内されると共に第 1 作動装置に応答し、円筒状外部表面を有するスプレッドリングを、前記端壁に強く連結することができる外環に対して半径方向に締め付けて、前記ロールカバーの端部セクションを締め付ける、拡張ニップロールプレスにおいて、

前記クランプリングに隣接して、密封リングが前記端壁に配置され、該密封リングは第 2 作動装置によって前記外環に対して半径方向に変形されることが可能であり、前記第 2 作動装置は前記クランプリングの作動とは別に作動し、前記ロールカバーの端部セクションの軸方向部分を前記外環に対して押圧することを特徴とする拡張ニップロールプレス。